

学力向上委員会便り

7月27日（月）～7月31日（金）まで、夏期学習補充教室を行いました。1、2年生は4時間目終了後12:00～12:20に、低学年算数教室で、3年生以上は、オンラインでの授業も取り入れながら、学校で学ぶ児童とオンラインで参加した児童での学び合いを実施しました。

1年生

足し算の「あわせる」や「ふえる」の意味理解や計算、引き算の「のこり」や「ちがい」の意味理解や計算が苦手な児童に、個別指導で復習を行いました。

一人一人の児童の習熟にあわせて、算数ブロックを使ったり、図をかいたりしながら取り組みました。操作活動を通して、式の意味理解を促すことができました。児童は一問解くごとに「できた！」と喜びの声を上げ、意欲的に問題を解き進めることができました。

2年生

日常の授業で見受けられた児童が苦手な単元や「東京ベーシック・ドリル」で間違いの多かった学習を元に、補習プリントを準備しました。時計や長さなどの抽象的な学習について理解が不十分な児童が多かったので、個別指導でヒントを与えながら繰り返し復習を行いました。

足し算・引き算が苦手な児童には、ただ筆算問題に取り組みせるのではなく計算して答えの大きな方に進んでゴールを目指す計算迷路のプリントを実施しました。楽しみながら意欲的に問題を解き進めていき、学習の定着につなげることができました。

3年生

（オンライン参加率 5日間平均35%）

7/27（月） 「1万までの数」（学年正答率48.8%）

・1万までの位取りについて、数字の書き方や読み方数の構成を学習しました。

7/28（火） 「引き算」（学年正答率53.8%）

・3桁－2桁などの引き算の仕方について学習しました。

7/29（水） 「式による表し方」（学年正答率47.5%）

・文章の場面をテープ図に表したり、式に表し答えを求めたりすることについて学習しました。

7/30（木） 「量の単位」（学年正答率30%）

・主に長さの単位の相互変換を学習しました。

7/31（金） 「時間の単位」（学年正答率55.5%）

・時間を分で表すことや分を時間で表す方法について学習しました。

※学年正答率は、5、6月に行った「東京ベーシック・ドリル」A問題のもので、正答率の低い内容となります。



4年生

（オンライン参加率 5日間平均36%）

7/27（月） 「整数の表し方」（学年正答率59.4%）

・千万までの位取りについて数字の書き方や読み方の学習をしました。

7/28（火） 「整数のかけ算」（学年正答率51.6%）

・繰り返りがないかけ算、繰り返りのあるかけ算、3桁×2桁などのかけ算の仕方について学習しました。

7/29（水） 「三角形」（学年正答率34.3%）

・三角形の種類について円をかいたときの半径を利用して正三角形をかく方法について学習しました。



7 / 30 (木) 「表や棒グラフ」(学年正答率43.8%)

・落ちなく表に整理して数を記入するやり方、それをもとにしたグラフの書き方などを学習しました。

7 / 31 (金) 「式による表現」(学年正答率50%)

・問題文を読みその場面を図に表したり、分からない数を□として式に表したりする学習をしました。

5年生 (オンライン参加率 5日間平均53%)

7 / 27 (月) 「整数のわり算」(学年正答率65.1%)

・3桁÷2桁のわり算の計算方法について学習しました。

7 / 28 (火) 「小数のかけ算」(学年正答率54%)

・小数×整数の計算について学習しました。

7 / 29 (水) 「小数のわり算」(学年正答率44.4%)

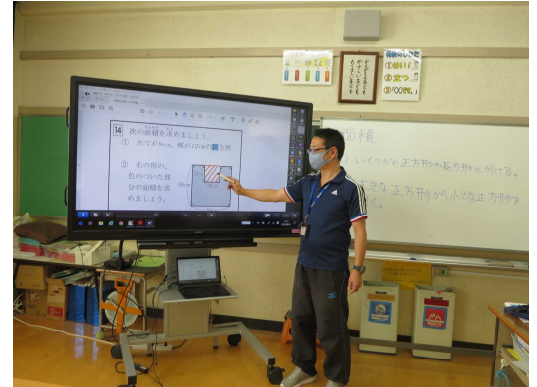
・小数を用いて、割り切れるまで割り進めるわり算について学習しました。

7 / 30 (木) 「面積」(学年正答率33.3%)

・複合図形を分割して求める面積の求め方を学習しました。

7 / 31 (金) 「立方体・直方体」(学年正答率41.3%)

・直方体や立方体の辺の数や面の数など図形の性質について学習しました。



6年生 (オンライン参加率 5日間平均61.6%)

7 / 27 (月) 「整数の性質」(学年正答率25.4%)

・奇数と偶数の見分け方、公倍数や公約数についての学習をしました。

7 / 28 (火) 「直方体・立方体の体積」 (学年正答率38.1%)

・直方体や立方体の体積の求め方、複合図形の体積の求め方について学習しました。

7 / 29 (水) 「単位量当たりの大きさ(人口密度)」 (学年正答率14.3%)

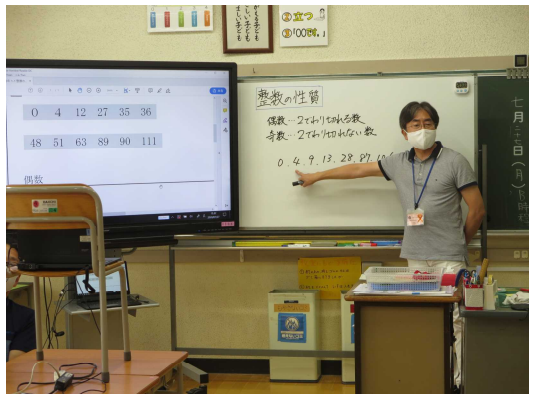
・簡単な混み具合についての学習をした後、人口密度の求め方を学習しました。

7 / 30 (木) 「割合」(学年正答率33.3%)

・0.25を%で表すと何%になるか、全体の80%はどのくらいになるかを求める学習をしました。

7 / 31 (金) 「帯グラフ・円グラフ」(学年正答率36.5%)

・例えばグラフの30%が実際には何km²になるかを求めたり、AはBの何倍になるかを求めたりしました。



5日間の学習を通して、低学年は個別指導の成果を発揮し、基礎・基本の定着に結び付きました。また、3年生以上はオンライン学習という新しいツールを使用した学習に興味津々で学習に取り組んでいました。接続トラブルなどまだ課題もありますが、一つ一つ丁寧に対応しながら新しい学びのスタイルを創造していきたいと思っております。なお、接続に関するトラブルについては、学力向上通信第二号でよくある事例と解決法を紹介いたします。そちらを参考に、8月31日に予定してありますオンライン前日登校に参加していただきたいと思います。詳細については、学校情報配信メールでお知らせいたします。